

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スポーツジャーナリズム演習	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科三年制	コース名	スポーツビジネスコース	開設期	通年
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	150時間
単位数	5単位	授業形態	実習		
教科書/教材	特になし				
担当教員情報					
担当教員	小松雅樹		実務経験の有無・職種	有・専門学校教員	
学習目的					
今日、新聞・テレビといったマスメディアだけでなく、携帯電話やパーソナル・コンピューターを含むデジタル・メディアを媒体としたコミュニケーションの拡張が可能となり、社会的なインパクトや人々への影響を理解し、それらの技術を適正に活用していくことの重要性が高まっています。その現状を踏まえ、本授業では現代的なメディアの役割とその活用方法を理解するため、実際の情報技術を応用しながらターゲットとする情報消費者に向けたスポーツビジネスに関するコミュニケーションとはどうあるべきかについて、実際の取材活動や情報発信を通して理解することを目的とします。					
到達目標					
実際の取材活動を通して情報発信を行うための準備段階（例：取材目的・対象の設定、取材方法・情報発信方法の選定、質問準備と取材活動など）を理解するとともに、身近にあるメディア媒体（携帯電話、SNSなど）で出来る情報発信を体験しながら、スポーツビジネスに関する情報発信の方法を習得します。					
教育方法等					
授業概要	スポーツジャーナリズム基礎と連携した授業となります。取材活動計画に沿ってスポーツジャーナリズム基礎内で確認した事項を、スポーツジャーナリズム演習内で実践していく形式を取ります。両授業間における計画と実践の連動性を意識しながら、事前調査や情報共有・インプットに沿った活動中心の演習授業を行います。				
注意点	・遅刻・欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻・欠席は成績評価に影響するため注意してください。 ・授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は、授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。 ・授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じることがあります。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	期末試験（筆記・レポート等）の結果により成績評価を行います。		
	小テスト	20%	授業内において中間的な理解度確認のために実施します。		
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	50%	授業中における出欠席状況と参加積極性(授業態度)によって評価します。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	イントロダクション		演習目的の説明、スケジュール確認、グループ編成を行います。		
2回	演習1		取材・制作活動の内容について目標設定を行い、活動内容や進行を理解をします。		
3回	演習2		具体的な取材計画を立て、制作活動のための準備工程を理解します。		
4回	演習3		具体的な取材計画を立て、制作活動のための準備工程を理解します。		
5回	演習4		取材対象を設定しながら、取材内容と適切な情報発信方法について理解していきます。		
6回	演習5		取材対象を設定しながら、取材内容と適切な情報発信方法について理解していきます。		
7回	演習6		取材協力者とのコンタクトを行い、対外的な取材準備の進め方を学びます。		
8回	演習7		取材協力者とのコンタクトを行い、対外的な取材準備の進め方を学びます。		
9回	演習8		計画に沿った取材活動を実施し、制作活動に必要な情報収集の方法を理解します。		
10回	演習9		計画に沿った取材活動を実施し、制作活動に必要な情報収集の方法を理解します。		
11回	演習10		取材活動から得た情報を基に、正確な情報伝達のための量的・質的整理方法を理解します。		
12回	演習11		取材活動から得た情報を基に、正確な情報伝達のための量的・質的整理方法を理解します。		
13回	演習12		取材を通して制作した情報内容の発信を行い、実際の情報発信活動を体験します。		
14回	演習13		活動工程の振り返りを通して、問題点の抽出を行い改善方法の提案方法を学びます。		
15回	演習総括		取材活動に関する重要点や注意点を復習し、取材全工程の最終的な理解・確認をします。		